

第189回 全経簿記検定試験 上級 一 会計学一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [丸数字は予想配点、合計 40 点]

	正誤	理 由	
1.	×	前受収益は、一定の契約に従い、継続して役務の提供を行う場合、いまだ提供していない役務に対し支払を受けた対価をいう。	④
2.	○		④
3.	○		④
4.	×	株主資本以外の各項目は、当期首残高、当期変動額及び当期末残高に区分し、当期変動額は純額で表示する。ただし、当期変動額について主な変動事由ごとにその金額を表示することができる。	④
5.	×	所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却費は、原則として、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する。	④
6.	○		④
7.	×	減損損失を認識するかどうかの判定は、資産又は資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって行う。	④
8.	○		④
9.	○		④
10.	×	会計上の変更とは、会計方針の変更、表示方法の変更及び会計上の見積りの変更をいう。過去の財務諸表における誤謬の訂正は、会計上の変更には該当しない。	④

問題 2 [丸文字は配点を示す、合計 42 点]

問 1	用 語	
	(a)	売上原価 ④
	(b)	製造原価 ④
	(c)	多 額 ④

問 1	用 語	
	(d)	特別損失 ④
	(e)	洗替え法 ④
	(f)	純 額 ④

問 2

例 示	市場価格の下落・市場の需給変化	
原因①	物理的な劣化（品質低下）	③
原因②	経済的な劣化（陳腐化、商品ライフサイクルの変化）	③

問 3

取得原価基準の下で回収可能性を反映させるように、過大な帳簿価額を減額し、将来に損失を繰り延べないために行われる会計処理である。		⑥
---	--	---

問 4

①	重要な事業部門の廃止	③
②	災害損失の発生	③

問題 3 (計算過程がわかるように計算式を示すこと) [丸文字は配点を示す、合計 18 点]

	計算式 (単位：万円)	解答 (単位：万円)
問 1	$(54,000 + 3,400) - 3,900 = 53,500$	53,500 ⑥
問 2	$\{(7,200 + 6,200) + 53,500\} - (9,800 + 8,200) = 48,900$	48,900 ⑥
問 3	$\{(3,800 + 2,700) + 80,500 + 1,200\} - (1,500 + 4,300 + 4,300) = 78,100$	78,100 ⑥